

若手研究者ワークショップ 芸術哲学の可能性

—シェリング・ホワイトヘッド・メルロ＝ポンティ—

2017年 3月5日（日）

日時 14:00～18:00

場所 立命館大学 衣笠キャンパス 存心館2階 704号室

提題者

加藤紫苑（京都大学）

「真理の場としての芸術—シェリング美学のアクチュアリティ—？」

有村直輝（立命館大学）

「ホメロスを聴くオデュッセウス—ホワイトヘッドの〈芸術〉概念について」

佐野泰之（京都大学）

「身体の黒魔術、言語の白魔術——メルロ＝ポンティ『言語の文学的用法の研究』
におけるヴァレリー読解をめぐって」

司会 加國尚志 教授（立命館大学）

※各発表後、休憩をはさみ司会者からのコメントと全体での討議を行います。

※ワークショップ後、懇親会を予定しております。

※事前のご連絡は不要で、当日、どなたでも参加できます。

問合せ先：立命館大学 人文科学研究所

TEL:075-465-8225 FAX:075-465-8245 E-Mail jinbun@st.ritsumeii.ac.jp